

産業教育の推進

【現状と課題】

産業社会の進展や技術の高度化等に対応し、即戦力となる専門的な知識や技術・技能を有した職業人の育成が必要となっています。

平成19年度における、本県の公私立全日制高等学校の生徒の約45%が、農業・工業・商業・水産・家庭・看護・福祉等に関する専門学科で学んでおり、全国でも高い水準です。

本県専門高校は、専門性の基礎・基本となる知識を習得させるとともに、社会人・職業人として自立できる人材の育成に努めていますが、今後とも、「将来のスペシャリスト」、「将来の地域産業を担う人材」、「人間性豊かな職業人」の育成が求められています。

特に本県の基幹産業である農業については、農業従事者の減少や高齢化の進行により、担い手を確保・育成することが求められています。

地域産業を支える人材の育成が重要ですが、本県専門学科の卒業者は、県外に就職する者の割合が高く、優秀な人材の県外流失が課題となっています。

地元企業等でのインターンシップが定着していますが、優れた技術を有する技術・技能者の学校への招へいや将来の進路希望を踏まえた産業現場実習をさらに推進する必要があります。

【これからの施策の方向性】

本県産業教育に関する教育の内容及び方法の改善等について調査審議する県産業教育審議会の提言の具体化を図ります。

地域の産業社会と連携した現場実習の充実に努めます。

専門高校や専門学科の主体的な地域連携や特色ある教育活動を推進します。

本県の農業従事者の確保・育成を図るため、農業高校の教育の充実に努めます。

【主な取組】

県産業教育審議会の提言を基に、本県産業教育の振興に係る各専門高校の取組を推進します。

生徒の専門性の高い技術の習得や高度な職業資格・検定の取得推進のために、研修の充実に努めるなどして、教職員の指導力向上に努めます。

専門学科からの進学に対応するため、生徒の進路実現に必要な学力の向上に努めます。

小中学校、地域住民、地元企業、大学等との連携による専門高校の活性化を図ります。なお、先進的な活性化事例を他の学校等に紹介することにより、県下全体の専門高校等の活性化を図ります。

農業高校については、農業大学校等との連携を図り、より実践的な教育の推進に努めます。